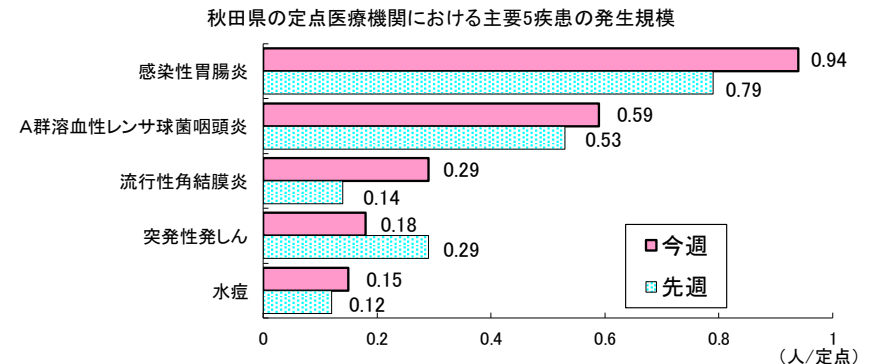




【第42週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、能代、由利本荘、横手で増加、大館で同規模、秋田中央、大仙、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、大館、秋田中央、由利本荘、湯沢で増加、秋田市、北秋田、大仙で減少しています。
3. 流行性角結膜炎は、県全体で2.1倍に増加しています。保健所別では、報告のあった全ての保健所で増加しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減	第41週	第42週	増減			
RSウイルス感染症	0.09	0.09		0.14		↘				1.00	1.00						0.25	↗												
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱		0.06	↗		0.14	↗		0.25	↗																					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	0.59	↗	0.29	0.14	↘	2.50	3.00	↗	1.00	0.50	↘				0.75	1.00	↗		0.25	↗	0.25		↘				0.33	↗	
感染性胃腸炎	0.79	0.94	↗	1.57	1.71	↗	0.50	0.50			0.50	↗	1.33	2.33	↗	1.25	0.75	↘		1.00	↗	0.50	0.25	↘	0.33	0.67	↗	0.67	↘	
水痘	0.12	0.15	↗					0.50	↗					0.33	↗					0.50		↘	0.50	0.25	↘				0.33	↗
手足口病	0.03	0.03			0.14	↗	0.25		↘																					
伝染性紅斑	0.03		↘													0.25		↘												
突発性発しん	0.29	0.18	↘	0.43	0.29	↘	0.25		↘	0.50	1.00	↗	0.33		↘					0.50	↗	0.25		↘	0.67		↘	0.33		↘
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.14	0.29	↗	0.33	0.67	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が北秋田保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が大館保健所管内から1人、梅毒が大館保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が大仙保健所管内から4人、横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-41週		42週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	12330	59	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
三類	細菌性赤痢	6		
	腸管出血性大腸菌感染症	2566	20	
	腸チフス	1		
四類	パラチフス			
	E型肝炎	348		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	59		
	エキノкокクス症	22		
	黄熱			
	オウム病	8		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	6		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	101		
	腎症候性出血熱			
西部ウマ脳炎				
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	1週-41週		42週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	143	1	
	デング熱	5		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	374		
	日本脳炎	2		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	20		
	野兔病			
	ライム病	19		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	1616	18	1
レプトスピラ症	26			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	421	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	155	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1541	26	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	16		
	急性脳炎	266		
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	138		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	487	3	
	後天性免疫不全症候群	810	1	
	ジアルジア症	29		
	優襲性インフルエンザ菌感染症	152	1	
	優襲性髄膜炎菌感染症	2		
	優襲性肺炎球菌感染症	1039	8	
	水痘(入院例に限る)	215	4	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	5816	33	2
	播種性クリプトкокクス症	113		
	破傷風	75		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	97		
	百日咳	495	4	
	風しん	10		
	麻疹	4		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	3			
* 新型コロナウイルス感染症		1745	5	

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<11月は薬剤耐性(AMR)対策推進月間です>

薬剤耐性菌が世界的に増加する一方、新たな抗菌薬の開発は減少傾向にあります。薬剤耐性菌の増加は感染症の治療を難しくすることから、公衆衛生上の大きな課題となっています。そこで、毎年11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」に設定し、AMRに係る対策の全国的な普及啓発活動が推進されています。

参考：AMR臨床リファレンスセンター(厚生労働省委託事業)

http://amr.ncgm.go.jp/information/campaign2021.html

■情報収集体制と報告数

感染症発生動向調査事業では、国内の薬剤耐性菌感染症の発生状況について、全数把握対象疾患として4種類、基幹定点医療機関(全国約500カ所の病床数300以上の医療機関)における届出対象疾患として3種類の情報を収集・公開しています(表)。

■対策

「適切な薬剤」を「必要な場合に限り」、「適切な量と期間」使用することが大切です。間違った抗菌薬の使い方をすると、薬剤耐性菌を増やしてしまう可能性があるため、処方された抗菌薬は医師の指示に従って用法・用量をしっかりと守りましょう。

表 全国の薬剤耐性菌による感染症の年別報告数(人)

疾患名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
○全数把握対象疾患					
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	61	83	80	80	136
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1,573	1,660	2,289	2,333	1,952
薬剤耐性アシネトバクター感染症	33	28	24	24	10
○基幹定点医療機関届出対象疾患					
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2,017	2,001	1,895	1,754	879
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	16,338	16,551	16,311	16,240	14,938
薬剤耐性緑膿菌感染症	157	128	121	127	115

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎2件、疥癬1件の集団発生報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
				園児、入所者等	職員	計		
感染性胃腸炎	鹿角市	大湯保育園	10/20	69名のうち9名	19名のうち1名	10名	10/15～10/20	嘔吐、下痢
	由利本荘市	認定こども園本荘幼稚園	10/22	47名のうち12名	15名のうち0名	12名	10/17～10/22	嘔吐、下痢、発熱
疥癬	大館市	小規模多機能型居宅介護柏葉寿	10/18	23名のうち7名	27名のうち5名	12名	10/6～10/18	発疹、掻痒感、落屑



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所（発生規模）	保健所（発生規模）
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある（終息していない）ことを示します。
- 2) 警報：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		